

んの登山客でにぎわっていました。もともと山に登るのが好きで八ヶ岳や槍ヶ岳、ヒマラヤ山脈を登ってきた私にとって、観光客の多い山は少し物足りなくもありました。

しかし、いざ頂上に登って、朝日が昇るのを眺めていると、次第にオレンジに染まっていく雲の海に、心がジーンとききました。周りを見渡して見ても、自分がいる高さに敵う山は無く、全てを見下ろすように景色が続いていきます。やっぱり、日本人にとって、富士山は特別な山であると感じました。留学をして、この富士登山のことを世界の国々の人に話していくのはもちろんですが、日本人としての自覚を持ち、日本の様々な文化を伝えていき、世界中の人たちと国際交流をしていきたいと思えます。

ゼミ合宿

私は bilingualism(二言語習得)と bilingual education(二言語教育)をテーマにしたゼミに参加しています。7月に英語イメージ教育を行っている、ぐんま国際アカデミーにゼミ生で見学に行ってきました。また、9月にはオレゴンのユージーンにある友人学園に行き、日本語教育のボランティアをしてくる予定です。

私のゼミでは5人が留学をするため、そのための送別会を兼ねて、埼玉県秩父にある温泉旅館でゼミ合宿をしてきました。ゼミ合宿では勉強をする予定だったのですが、みんながお別れ会をしてくれるというので、ほとんど勉強もせずお酒をのんで語り合っていました。ゼミで出来た仲間は、私の大学生活にとって、非常に大切なつながりです。

大切な友達

大学ではサークルやバイトなど、いろいろな場面で人と出会う機会がありますが、私はどのサークルにも所属していません。それは、私の所属する学科にはクラスがあり、そのクラスの友達がとても仲がいいからです。私の学科は全部で150人いて、50人ずつの3クラスに分かれています。私の学科は必修の授業が多いため、1年の頃からほとんど同じ授業を受けていて、高校の授業と似たような雰囲気があります。

私のクラスでは3人が留学に行くので、クラスの友達が日本での思い出作りのため、熱海に一泊二日の旅行を企画してくれました。熱海では海に行きバーベキューをし、夏を楽しみ、夜は温泉に入って一日の疲れを取りました。旅行の終わりにみんなのコメントが入った色紙をプレゼントとしてくれ、励ましの言葉を掛けてもらったときに、はじめは笑いながら聞いていましたが、大学に入ってから2年間半の思い出がフラッシュバックして来て最後には泣いていた自分がいました。この友達は、留学をした後も大学を卒業したあとも、ずっと大切にしていきたい親友たちです。



ボランティア活動

私は今、NICE(Never-ending International workCamps Exchange)というNGO団体に所属しています。環境保護や福祉、地域改善を目指し、世界各国でワークキャンプと呼ばれるボランティア事業を主催している団体です。私は2007年の4月、大学3年生のときに入会して活動していて、今年の夏にはタンザニアへ2週間のワークキャンプに参加する予定です。タンザニアでは、地元の住民とともに児童のための教育施設を建設してきます。世界各国から参加者が集まり、総勢20人くらいのグループを作るのですが、地元の住民たちをたくさん巻き込んで、出会いと活動の場を創っていかうと思っています。

いざ、出発

今この文章をお読みいただいている頃に、私はちょうどタンザニアから帰ってきて、留学のための準備に追われている頃だと思えます。留学はたったの1年間で終わるので、自分から積極的に動いていかなければ、ただの旅行になってしまう可能性があります。そうならないように、自分で積極的に活動し、何事に対してもエネルギーに動いていくつもりです。

さて、今から成田。

最高のワークキャンプを作っていきます！！



清沢君の、オレゴンへの留学出発前の、忙しい生活の紹介です。彼が如何に活動的な学生か、お分かりいただけるでしょう。

忙しい中の8月の最初の1週間は、彼は私の夏季集中クラスに出席し、勉強しました。25名の受講生が終日、缶詰状態での英文エッセイの特訓でしたが、全員すばらしい上達を見せてくれました。私にとっても、疲労困憊ながら、実り多い1週間でした。

受講生のうち、およそ半数は、この夏の間留学先にむけて出発しました。清沢君も、今頃はオレゴン大学での田舎生活に馴染むのに、苦労していると思います。次回のレポートが、楽しみです。

清沢君、待ってますよ！